

さわやかな秋の軽井沢を楽しみました

村上洋平

参加感想文

期間：2015年10月26日(月)～28日(水)2泊3日

費用：27,000円 交通費、ゴルフ代等は自己負担

参加者：22名

他にスペイン人夫婦参加（島田、国分、新保さんの海外語学友人）

リーダー：村上洋平

宿泊は、交通の便のよい軽井沢プリンスホテルの滞在向きのコテージにしました。

紅葉の森の中に4人から8人用までのコテージが多数設置されています。

参加者が20人以上になると団体扱いにしてくれますので、何回か交渉を重ね滞在費、ゴルフ・プレイ代もかなりの割引になりました。まさに数は力なりです。

例年軽井沢は10月下旬が紅葉の見ごろなのですが、海拔1,000メートルの高原なので朝夕の冷え込みがかなり厳しく、寒くなるかと心配しておりました。

しかし、予想に反して連日暖かい好天気にも恵まれて幸いでした。

WSC ゴルフクラブ仲間は名門の北コース、翌日は西コースへと転戦し、ゴルフを堪能しました。

散歩組は26日は紅葉の雲場池から旧軽井沢別荘地、銀座通りを散歩し、映画「ゆずり葉のころ」のロケで有名になった「コーヒー歌劇」でこだわりのコーヒーを味わいました。

27日はタクシーなどに分乗し、自然とアートが融合した南軽井沢のタリアセン塩沢湖に行きました。

堀辰雄の元別荘がある軽井沢高原文庫、ペイネ美術館、そして深沢紅子の野の花美術館を見学しながら、塩沢湖をゆっくり一周しました。

28日は男性4人で、はるばる苫小牧からマイカーで来た佐竹さんの車で北軽井沢の星野温泉に行き、トンボの湯で汗を流しました。その後、旧碓氷峠に向かい森林浴を楽しみました。

それにしても北海道から1人往復ドライブした上、ゴルフを連日プレイした佐竹さんはタフな人です。このような旅仲間から元気をもらい「私もまだ頑張るぞ」と思いながら家路につきました。

佐竹勝年

初めての軽井沢は遠かった。苫小牧からカーフェリーで新潟まで行きましたが、折あしく海路の北日本海は低気圧の接近中で大荒れ状態でした。

一時は船が転覆するかもと緊張しました。新潟から軽井沢まではカーナビ頼りの一人旅でした。

翌日からは絶好のゴルフ日和でした。毎年夏に女子プロのトーナメントが開催される名門の軽井沢北コースでのプレイです。

WSC ゴルフクラブ所属の女子プロ？達との楽しいプレイが連日でき、感謝いっぱいです。飛び入り参加でしたが、お世話いただいた松本ゴルフ会長ありがとうございました。

ただ、滞在期間が短くて、多くの旅仲間との交流ができなかったのが心残りでした。

大湊雅子

久しぶりの秋の軽井沢、秋空のもと、奇景の妙義山と軽井沢の紅葉の形や色のコントラストが余りにも見事で感動をしていたことを思い出しています。

ホテルのテラスでのコーヒータイム、日常から解放されてほっと一息！

次の日は美しい紅葉の中、バスに揺られて豊かな自然の中にピッタリの「千住博美術館」を訪れた。

窓が多く陽が差し込み空間いっぱいの素敵な館内で、千住博画伯の大作を目の前にゆったりと幸せな時を過ごしてきました。

伊丹裕子

“さわやかな秋の軽井沢を楽しみませんか”の呼び掛けに惹かれ関西からは一人でしたが参加を決めました。

新幹線を乗り継いでの一人旅はこの年齢になって初めての経験でしたが、ガラケイでも持っているだけで心丈夫でした。

その節顔見しりの方々に何かとお気遣い戴き感謝感謝でした。

軽井沢だからか、あちこちの鮮やかな木々の紅葉に心まで真っ赤になり、今でもその色が憶い出せます。嬉しい事です。

一方ホテルの森の中のコテージの滞在に興味津々でした。二泊でしたが、散策と移動日を引くと一泊だけの感じで、コテージのリビングでのおしゃべりがもう少し欲しく思えました。(贅沢ですね)

リーダーや皆様のお蔭でとても楽しく過ごせて幸せでした。有難うございました。